

2003年7月31日

# 平成14年度環境保全活動報告書

日本黒鉛工業株式会社

瀬田工場

## ごあいさつ

平成14年度の環境保全活動は、世の中のデフレ・価格破壊の大きな影響を受けて、弊社も業績面では大きな打撃を受けましたが、環境保全に関してはこの時期特に生産コストダウンと平衡しての活動を取り入れ、実質上の効果を揚げる事が出来ました。

以下に報告しております通り電気エネルギーは、平成11年度比92.3%と顕著な原単位削減を果たし、産業廃棄物は平成11年度比46.9%、指定化学物質においては取扱量を平成12年度比1/3に迄減少させる事が出来ました。

今後はこれらの管理対象に加え、工場利排水量の削減と地域住民への更なる住みよい環境づくり等の施策を具体化し推進していく所存です。

一方、並行して段階的にISO14001の認証取得を目指し大津環境フォーラムが勧めておられるKESステップ2を2003年秋に認証取得し、最終目標であるISO-14001は2004年度中の認証取得を目指し現在努力致しております。

終わりに、

日本黒鉛瀨田工場としては、豊かな自然に恵まれた琵琶湖を背景に控えているなか、「環境との調和」を基本理念として、積極的な環境保全活動の取り組みを推進していきます。

日本黒鉛工業株式会社

取締役瀨田工場長 石川幸治郎

# 目 次

- 1) 会社概要
- 2) 日本黒鉛工業株式会社環境方針
- 3) 瀬田工場環境保全基本方針
- 4) 工場環境マネジメントシステム
- 5) 環境保全活動の経緯
  - 5) - 1温暖化ガスの排出削減
  - 5) - 2産業廃棄物の削減
  - 5) - 3化学物質の管理と使用量の削減
  - 5) - 4環境汚染防止の推進
- 6) 問い合わせ先・連絡先

以上

## 1.会社概要

社名 :日本黒鉛工業株式会社

所在地 :大津市唐橋町 9番 22号

設立 :大正 8年 3月 29日

資本金 :9000万円

従業員 :295名 (平成 13年 3月末)

工場

瀬田工場 :大津市栗林町 5番 1号

石山工場 :大津市唐橋町 9番 22号

製造品目 乾電池用 鉛筆芯用 粉末冶金用黒鉛粉  
末 鍛造用 ・ダイカスト用潤滑剤 ・各種導電  
塗料 ・フレキ回路基板 ・各種メンブレンスイ  
ッチ ・液晶表示管用コネクター他

## 日本黒鉛工業株式会社環境方針

当社は、豊かな自然環境に恵まれた母なる湖、琵琶湖を背景に控えているなか、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つとして位置づけ「環境との調和」を基本理念として、黒鉛粉末・潤滑離型剤・電子部品等の製造をしています。

「豊かな自然を次世代へ」を掲げ、積極的な環境保全活動の取り組みを推進していきます。

- 1) 事業活動に関わる環境影響を常に意識し、環境に関する法令・協定を遵守すると共に管理水準の向上、環境汚染の防止を推進し環境管理システムの継続的な改善を図っていきます。
- 2) 環境影響を低減するため継続的な改善に努めます。
  - (1) 省エネルギーを推進しエネルギーの削減を推進します。
  - (2) 工場排水の管理等、環境汚染の未然防止を推進します。
  - (3) 産業廃棄物の減量化と分別回収による資源のリサイクルを推進します。
  - (4) 環境に配慮した製品の開発を推進します。
- 3) 環境保全の推進達成のため全従業員をあげて活動に取り組みます。

日本黒鉛工業株式会社  
代表取締役社長 渡邊頼光

# 瀬田工場環境保全活動基本方針

当事業所は、弊社環境方針の理念及び方針に基づいて、環境保全活動に積極的に取り組み、これを推進する。

## 1. 重点取り組み事項

### 1)環境汚染の防止を推進する。

工場排水・騒音振動等を測定管理し、環境汚染の未然防止を推進する。

### 2)地球温暖化ガスの排出削減

電氣量を対前年度比原単位で年間1%以上削減する。

### 3)有害物質の管理と削減

指定化学物質の削減および置換を押し進める。

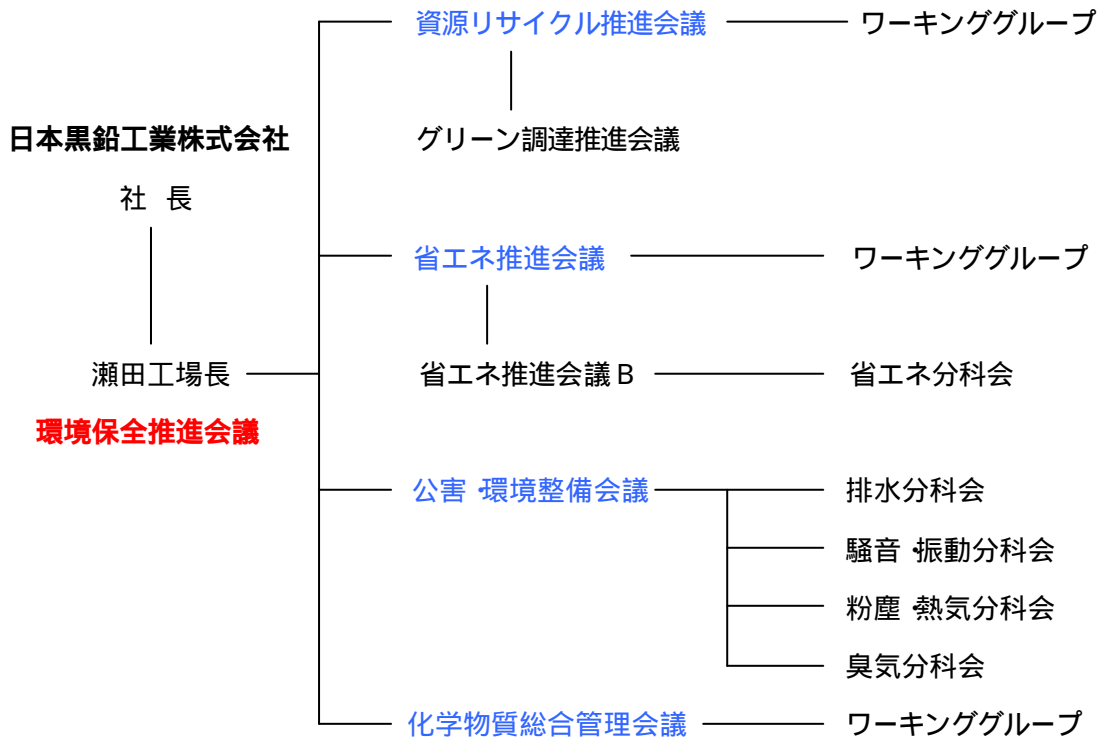
### 4)産業廃棄物の削減

有効利用されない廃棄物を削減する。

### 5)グリーン調達を推進する。

日本黒鉛工業株式会社 瀬田工場  
取締役工場長 石川幸治郎

## 4.工場環境マネジメントシステム



**環境保全推進会議** :工場長を議長とし、工場全般の環境保全に関わる方針・計画を立案する。

**資源リサイクル推進会議** :廃棄物の発生抑制、リサイクルに対する方針・計画の立案と実行を指示し目標の達成を検証する。

**グリーン調達推進会議** :工場グリーン調達を推進し、目標の達成を検証する。

**省エネルギー推進会議** :エネルギー管理士を議長とし、省エネに関する方針・計画の立案と実行を指示し目標の達成を検証する。

**公害・環境整備会議** :各工場内環境の改善及び公害の未然防止に対する方針・計画の立案と実行を指示し目標の達成を検証する。

**化学物質総合管理会議** :指定化学物質の管理削減に対する方針・計画の立案と実行を指示し目標の達成を検証する。

**ワーキンググループ** :各推進会議によって立案された計画を実行に移してその成果を上げる為に設置する。

**分科会** :各推進会議によって立案された計画を分科会チーフを中心に実行に当たりその成果を上げる為に設置する。

## 5.環境保全活動の経緯

瀬田工場環境保全活動基本方針に基づき平成14年度改善目標を設定し、環境保全活動を推進した。

### 日本黒鉛工業株式会社瀬田工場環境保全数値目標

1. 使用電力量を年間原単位で前年度比1%以上削減する。
2. 再利用出来ない産業廃棄物を前年度比10%削減する。
3. 指定化学物質の使用量を前年度比5%削減する。
4. 事務所等で使用する用具・紙の80%をエコマーク商品に切り替える。



## 5) - 1 温暖化ガスの排出削減

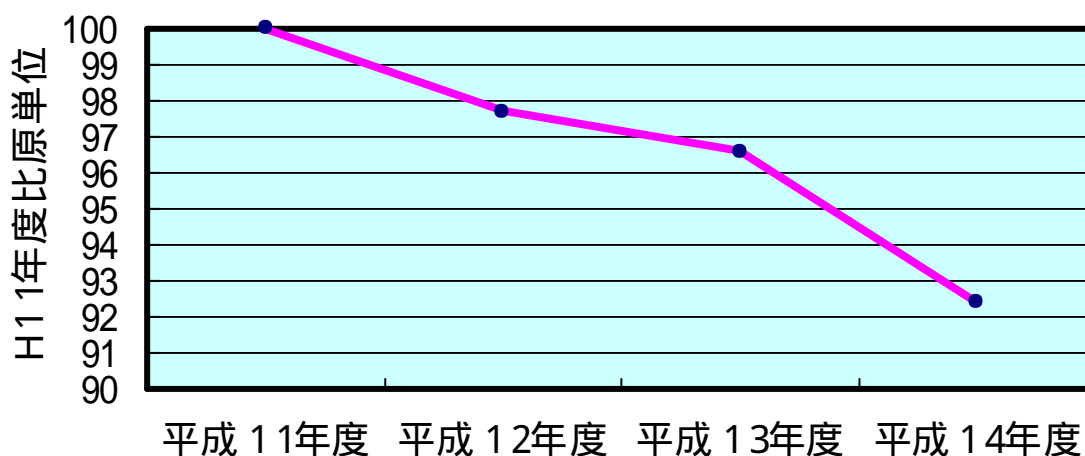
弊社においては、2001年4月に省エネ推進会議を発足して以後、対前年度比年間原単位1%以上の電力削減を目指して活動を継続しております。

### 各年度別原単位推移

対平成11年度比原単位

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
原単位推移	100	97.7	98.9	92.4

平成11年度比原単位推移



## 5) - 2 産業廃棄物の削減

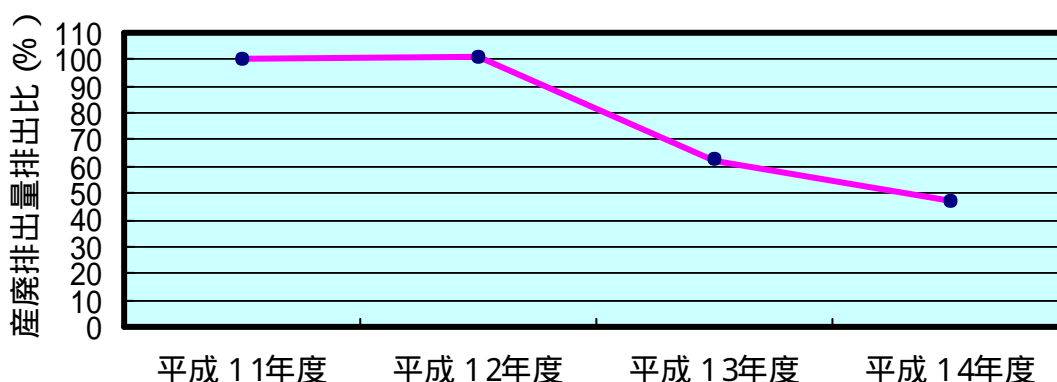
弊社においては黒鉛の精錬・粉碎工程からの無機汚泥・分散体製造時の洗浄排水・フレコンバック等の廃プラスチックが廃棄物の主なものであり、数値目標を立て2001年4月に資源リサイクル推進会議を発足して発生の抑制とリサイクルを推進しております。

### 年度別廃棄物量推移

平成11年度を100とする

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
産廃排出量	100	100.6	62.3	46.9

### 産廃排出量推移



### 5) - 3 化学物質の管理と使用量の削減

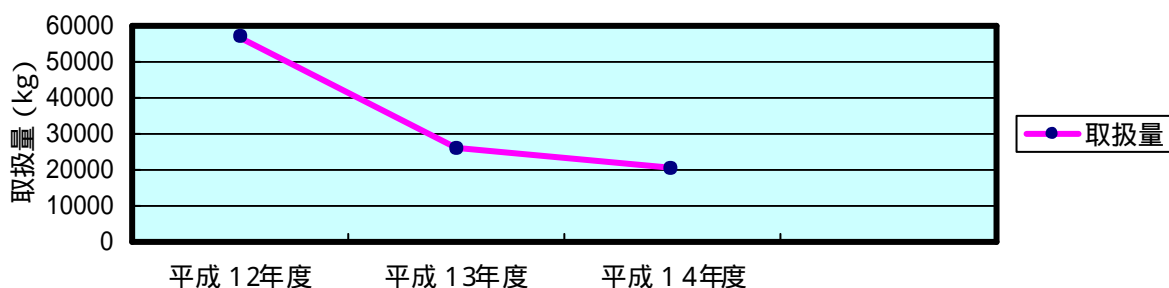
PRTR法の施行により指定化学物質の量管理と置換・削減を押し進めるため2001年4月に化学物質総合管理会議を発足し、その管理と置換・削減を推進しております。

#### PRTR法第一種指定化学物質の使用量推移

単位は kg

	平成12年度取扱量	平成13年度取扱量	平成14年度取扱量
アクリル酸	1000	1152	420
ビスフェノールA	600	200	400
キシレン	6290	1020	710
1,4ジオキサン	4020	0	0
テレフタル酸	8770	4775	4860
トルエン	11269	4153	4036
ニッケル	1510	2006	1102
硼素及びその化合物	1005	861	804
オクチル=フェニルエーテル	7854	867	0
ノニル=フェニルエーテル	8680	3193	793
Mo及びその化合物	6030	11659	7392
合計取扱量	57028	29886	20517

#### 指定化学物質取扱量



## 5) - 4 環境汚染防止の推進

黒鉛の精錬・粉碎と塗料への二次加工を行い、製品化しているために精錬排水や分散設備よりの排水・振動・騒音等、生活環境汚染をもたらす可能性が有り、公害・環境整備会議を長年に渡り開催し対応してきました。近年は公害問題も皆無に等しくその結果周辺住民にご迷惑をお掛けする事も無くなりました。

### 最近の工場周辺環境

#### (1) 排水排出状況

(平成14年度平均値)

	SS	COD	BOD	トータルN	トータルP	P H
実測値	13mg/L	18mg/L	20mg/L	1.35ppm	0.06ppm	6.81
規制値	70mg/L	30mg/L	30mg/L	12.0ppm	1.20ppm	6~8.5

#### (2) 工場周辺騒音・振動測定結果

(平成14年度平均値)

	工場北側 (昼間)	工場北側 (夜間)	工場南側 (昼間)	工場南側 (夜間)
騒音規制値	65	55	65	55
騒音 (dB・A)	49	48	54	53
振動規制値	60	55	60	55
振動 (dB)	45~48		44~47	

## 6. 問い合わせ連絡先

日本黒鉛工業株式会社 瀬田工場

住所 :大津市栗林町 5番 1号

電話 :077- 545 - 3375

Fax:077- 543 - 1167

環境管理責任者 :第二製造技術部

取締役部長 杉本久典